

館山市市民協働事業補助金、 館山市環境保全活動団体支援事業補助金について

▶ 事業自立のために伴走する体制づくりを

市民が地域課題解決のために行う事業を支援する仕組みが市民協働事業補助金です。環境保全活動団体支援事業補助金は環境保全を行う市民団体を市が補助する制度でした。



市民協働事業の
「神戸の魅力発見隊」の活動

令和5年の事業仕分けで環境保全団体補助金は市民協働補助金と統合、という判断が出されました。これを受けて、市は環境保全団体支援事業補助金を令和7年度から市民協働事業補助金と統合することを提案しました。

市民協働事業が盛んで市民の活動が活性化している自治体は、地域課題も徐々に解決され、暮らしやすい街づくりが進んでいます。市民協働事業のための予算の拡充にも努めるよう求めます。

一方、地域課題を解決しようとする事業の多くは利益を生みません。継続のための資金作りの情報提供など、市にも寄り添っていただきたいと思います。



市民協働事業の
「たてやま青空の会」の活動

不登校児の学習支援とSST(ソーシャルスキルトレーニング)について

▶ どの子ども学び、生きる力を身に着けるための支援を



SSTとは人と円滑にコミュニケーションをとるために必要なスキルを学ぶこと

病気やケガ以外で1年間に30日以上登校しなかった場合を不登校としています。令和5年度は小、中学校合わせて94名いました。そのうち、市の用意した学習支援センターに通所した生徒は25名です。それ以外の子どもたちが学習を続けられているかどうかは、それぞれ状況が異なるようです。実情の把握が求められます。

また、不登校の原因の一つには、友達や先生との人間関係にあります。核家族化が進む中、人間関係を作ることが苦手なまま育ってしまう子どももいます。対人関係や集団行動など、社会の中で生活していくために必要な社会的能力を養うソーシャルスキルトレーニングを行う仕組みを南房総市が作りました。館山市でも同様の仕組みを作るよう働きかけていきます。

令和5年度決算より

令和5年度の歳入の合計は269億4,238万5千円、歳出合計260億9,769万8千円となりました。清掃センターの基幹的設備改良事業、館山中学校新校舎整備、食のまちづくり拠点施設の整備など大規模事業が集中したため、決算額は前年度に比べて大きく増加しました。

これにより、市の貯金である基金の合計は9億3千万円減少して58億4千万円となり、借金の市債は25億3千万円増えて214億5千万円となりました。将来へ負担を積み残さないため、財政再建に取り組まなければなりません。

補正予算の主なもの

- ・ 児童手当制度改正事業……………**1億8,804万円**
こども未来戦略に基づく児童手当制度の改正による増額で、12月支給分から改正されます。
- ・ 私立保育所運営支援費……………**4,852万円**
- ・ 低所得者支援及び定額減税を補足する給付(住民税均等割のみ課税となる世帯給付金)……………**2,363万円**



おわりに



イスラエルのガザへの執拗な攻撃に心を痛めていますが、さらに周辺の中東諸国との戦闘に拡大しています。ウクライナとロシアの抗争も終結の兆しが見えません。この間、どれだけの人々が傷つき、命を失ったことでしょうか。多くの民間人が犠牲となっています。

北朝鮮により繰り返されるミサイル実験、中国による台湾、フィリピンへの威嚇など日本周辺でもきな臭さが漂っています。

世界中が戦争に巻き込まれていくのではないかと、う心配が危惧に終わることを祈ります。

